

2018年12月21日
 東日本旅客鉄道株式会社
 盛岡支社
 東北工事事務所
 JR盛岡鉄道サービス株式会社

～冬期間の安全安定輸送の取り組み～

今年度も盛岡駅で「こまち雪落とし隊」が雪落とし作業を実施します

- 秋田方面から来る上り「こまち号」について、冬期間東北新幹線内を走行する際、台車付近から落雪し、地上設備破損による輸送障害等を防止するため、盛岡駅で人力による「雪落とし作業」を行い、安全安定輸送の確保に努めています。
- 田沢湖線大釜駅に設置している新しい融雪装置は、2019年度冬期間から使用開始予定です。

1 雪落とし作業

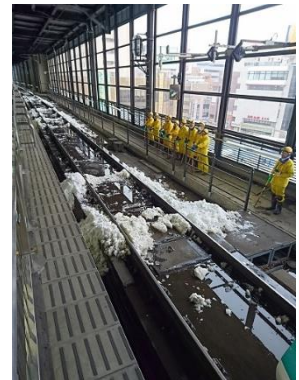
実施箇所	盛岡駅
実施期間	2018年12月15日～2019年3月15日のうち、車両への着雪が多い日
対象列車	「こまち」上り列車（こまち6号～24号）8本
作業員数	21名
実績(2017年度)	延べ37日間、187本



「こまち」盛岡駅到着時に
着雪状態を確認



雪ペラを使用して雪落とし作業を実施



こまち雪落とし隊

- JR盛岡鉄道サービス(株)盛岡営業所に所属する、鉄道OBを中心とした平均年齢69歳、総勢33名のベテラン集団。
- 2009年より東北新幹線の輸送障害防止と安定輸送の確保のため、縁の下（ホーム下）の力持ちとして新幹線の雪落とし作業を行っています。
- 今年度も安全第一の作業を心がけ、安全・安心・快適な旅の提供に貢献します！



2 大釜駅融雪装置等設置工事の状況

～ 全景 ～

↑大曲方面



↓盛岡方面

～ 融雪装置設置工事状況 ～

↑大曲方面



↓盛岡方面

【参考：2018年5月14日発表「田沢湖線大釜駅に当社初の融雪装置を設置します」】

1 施策概要

(1) 設置目的

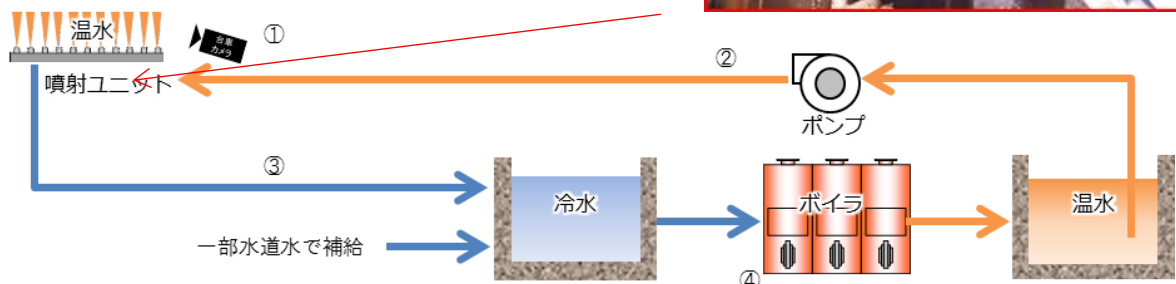
「こまち号」が秋田～盛岡間走行時に付着した台車付近の雪を温水噴射によって融解

(2) 装置概要

- ・約60度の温水を台車下部より噴射し融雪
- ・噴射ユニット56組、噴射ポンプ14台を新設
- ・噴出量は3分間で約50t（1編成あたり）

(3) 融雪の流れ（イメージ）

- ①台車カメラとセンサーで状況確認
- ②ポンプで温水を自動噴射
- ③噴射水を回収
- ④ボイラで冷水を加熱



2 工事概要及びスケジュール

(1) 融雪装置等設置工事（融雪装置・上りホーム）

2018年5月下旬～2019年11月末頃まで

(2) 下り1番線撤去及び下りホーム整備

2019年11月頃～2020年12月末頃まで

